

UN-SDGs実現のための
2050 全羅南道
カーボンニュートラル・ビジョン
および重点施策



OK!今は
全南時代

Contents

OK!今は
全南時代



01

全羅南道の
現状

02

2050
カーボンニュートラル・
ビジョン



03

重点施策

01. 全羅南道の現状

温室効果ガス排出量

韓国第3位

総排出量

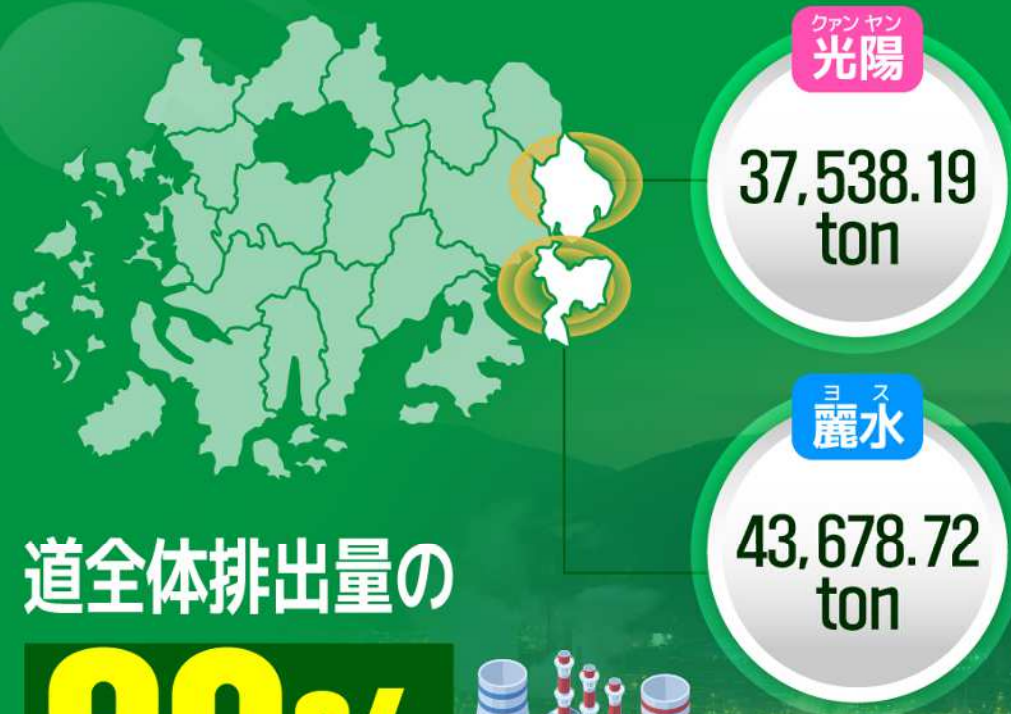
1億140万トン (2020年時点)

部門別排出量

産業・エネルギー **76.9%**

市・郡別 排出量

2020年時点



01. 全羅南道の現状

再生可能エネルギーの
発電量・ポテンシャル



再生可能エネルギー ポテンシャル

444.2GW

太陽光 276.7
風 力 167.5

再生可能エネルギー 設備容量

6.6GW

太陽光 6
風 力 0.6

豊富なブルーカーボン

干潟面積

1,071km² (韓国全体の43.8%)

多様な海藻類

ノリ、コンブ、ワカメ、ヒジキ、アオノリなど

大規模な海の森

3,064ha

02. 2050 カーボンニュートラル・ビジョン



韓国初・2050全羅南道カーボンニュートラル・ビジョン宣言(2021年3月)

カーボンのない健やかな未来、清らかな全羅南道



全羅南道カーボンニュートラル・グリーン成長基本計画の策定

温室効果ガス
削減目標

2030年 **40%**

[2018年比で670万トン]

重点
施策

産業の
低炭素化
転換

エネルギー
大転換の
先導

吸収源の
拡大

グリーン
ライフ実践の
拡大



2050 カーボンニュートラルの実現

重点施策 01 産業の低炭素化転換と再生可能エネルギーエコシステムの構築



重点施策 02 韓国におけるエネルギー大転換の先導



洋上風力
発電団地の
造成

エネルギー
部門

次世代
電力網の
構築

分散型
エネルギー特区の
指定および
育成

重点施策 03 炭素吸収源の保全および拡大

干潟の
体系的な保全・管理のための
基盤整備

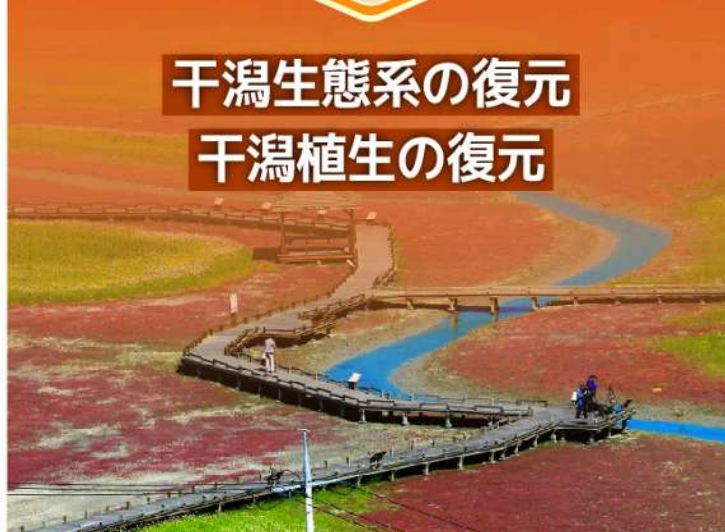
干潟世界遺産保全院の設立
国家海洋生態公園の造成



吸収源部門

干潟および
塩性湿地の復元による
炭素吸収源の拡充

干潟生態系の復元
干潟植生の復元



森林炭素吸収源の
拡充と森林資源の
持続可能な利用

造林および森林育成
気候対応型都市の森の造成
2050・5億本の植樹



重点施策 04 グリーンライフ実践文化の普及・定着



グリーン ライフ 実践部門

全道民参加型 全羅南道版 カーボンニュートラル・ ポイント制度

公共交通の利用や徒歩など、
道民によるグリーンライフへの
参加を促進
*2026年から運営予定

UN気候変動枠組条約 「気候週間」 韓国内開催地に選定

政府と連携し、
2026年の韓国誘致に
向けた取組を推進

R&D

- ・海洋廃棄物のアップサイクル
- ・太陽光パネル廃棄物の
リサイクル

COP33 南海岸・南中圏 誘致への取組

(2009年、韓国内誘致を初めて提案)

麗水を中心とする 南海岸・南中圏の
12市・郡において、先導的な
カーボンニュートラル
活動を展開

2050 カーボンニュートラル韓国を 全羅南道が先導します



全羅南道
JeollaNamdo